

R8 年産二条大麦の播種適期調査結果

令和 8 (2026) 年 10 月

那須農業振興事務所

適期内 (11/5～20 頃) で播種時期を遅らせることで
作業時期を大幅に変えずに、①収量向上、②タンパ
ク質含有量の適正化が期待できる

1 収量・品質調査結果

ほ場場所	播種日	収量※ (kg/10a)	整粒歩合 (%)	千粒重 (g)	タンパク質 含有量 (%)
湯津上 (佐良土)	11/14	738.8	93	51.1	12.1
大田原南部 (片府田)	11/20	595.7	97	52.6	10.1
大田原北部 (北金丸)	11/22	707.0	98	54.4	10.6
	11/29	667.2	98	53.5	9.7
黒羽 (大輪)	11/5	462.7	87	45.5	8.2
	11/16	826.3	94	50.1	10.0

※収穫面積と整粒重から計算した値

- ・大田原北部では、播種時期を遅らせても収量は大きくは変わらなかった
また、早まきは場でタンパク質含有量は目標範囲内となった (目標範囲: 10.0%～11.0%)
 - ・黒羽のほ場では、播種時期を遅らせた方が収量は多くなった
また、遅まきは場でタンパク質含有量は目標範囲内となった
- 適期内 (11/5～11/20 頃) で播種時期を遅らせると、収量向上とタンパク質含有率の適正化が期待できると考えられる

2 各ステージの到達日

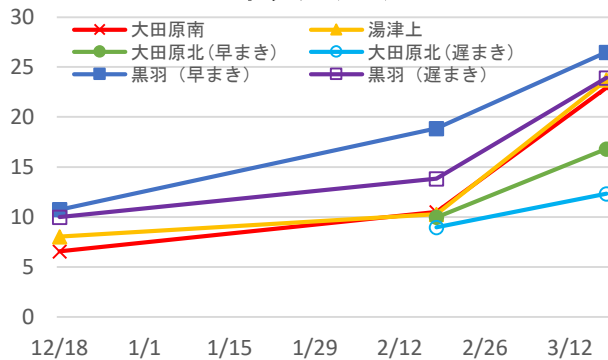
ほ場場所	播種日	茎立期	出穂期	成熟期
湯津上 (佐良土)	11/14	3/22	4/17	(5/31)※
大田原南部 (片府田)	11/20	3/25	4/17	5/28
大田原北部 (北金丸)	11/22	3/23	4/15	5/26
	11/29	3/28	4/18	5/28
黒羽 (大輪)	11/5	(3/3)※	4/4	5/19
	11/16	3/15	4/11	5/24

※確認できなかったため予測日を記載

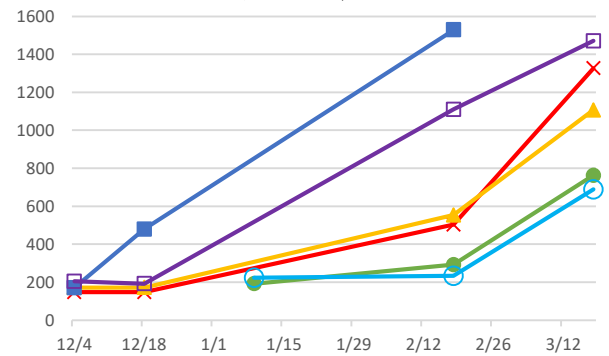
- ・大田原北部では、播種日を 7 日遅くすると成熟期は 2 日遅くなった
 - ・黒羽では、播種日を 11 日遅くすると成熟期は 5 日遅くなった
- 適期内で播種を遅らせても、成熟期は大きく変化しないと考えられる

3 生育調査結果

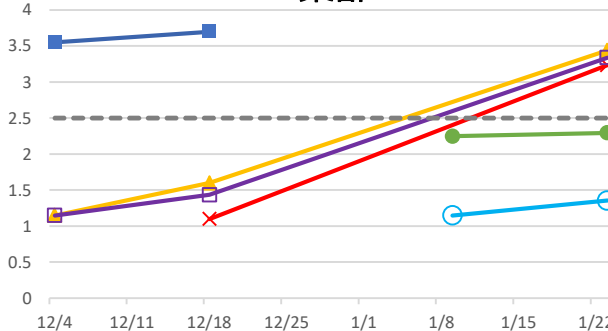
草丈 (cm)



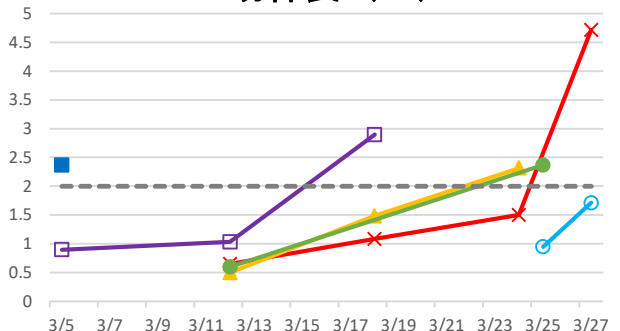
茎数 (本/㎡)



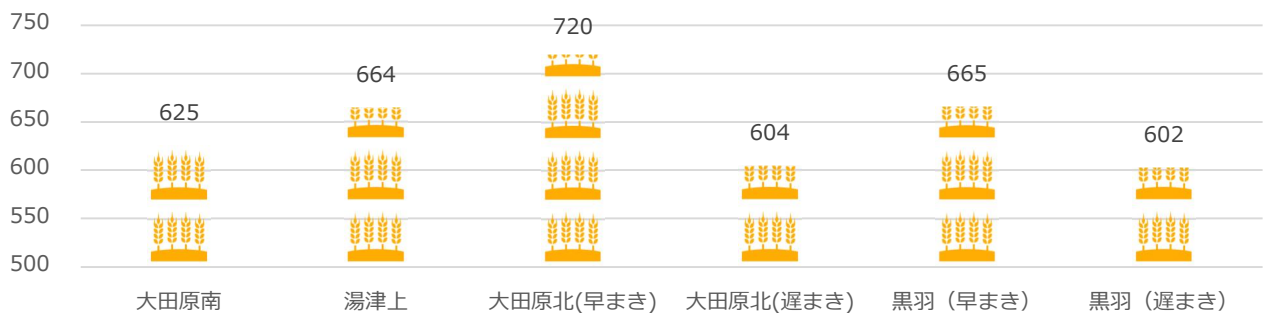
葉齢



幼穂長 (cm)



穂数 (本/㎡)



(参考) 生育期間における気象の推移

